

「11の会」通信

～ 伝えよう 未来のために ～

七尾市から故郷・福島県へ帰還2か月

～～ ブツブツ ウツウツ シクシク ウキウキ ～～



Open your eyes.

原発事故により2011年に福島県から石川県へ避難した石井いづみさん(*)が5月末に福島県へ帰還しました。帰還2か月の思いです。(*)福島県で高齢者施設勤務、七尾でも高齢者施設勤務。

◆避難・帰省とは違って「住む」となると「居場所がない・・・ような・・・」。

暮らしというのは「平凡な日常がある」ということなんだと実感しています。福島に移ってから2ヶ月間、何とか忙しく動いていますが、いつでも・どこでも・何でもすべてが臨時。いつも同じ生活リズムがあるということが、どれだけ心身の安定をもたらすものか、を実感しています。

震災後の混乱期が過ぎて、生活を立て直さなければ、と思った時に似ています。七尾という新しい土地で、新しい生活を始めなければならぬと思った時に似ています。今から思うと「仕事」があったから仕事中心に毎日が巡り、徐々に「日常」になっていった気がします。

それでも私は、自分の生業を継続できたからよかったけれど、全く経験のない仕事に就いていたら、今の私は無かったと思います。仲間にも恵まれ、やりがいや面白さが日常の張りにもなり、特に恵まれた環境にありました。

今は、ぶつ切りの非日常が連結している状態です。こんな「生活の組み建て直し」を、7年たった今、定年を過ぎた今、繰り返さなければならぬ現実。やりきれないなあ。ブツブツ。

◆「忘れないで」と県外で言ってきたのに、「忘れたいのに」と県内では言われてしまう。

新聞でもテレビでも、福島県内の地域の復興情報が流れているのは当然ですが、どこもここも良いこと尽くし。夏祭の時期だから、尚拍車がかかります。原発や人権をテーマに国際シンポジウムや講演会も多くあります。五輪の聖火が福島から始まることも決定し、復興に拍車がかかったぞ！という効果抜群の時期。

ここでつぶやくと、折角の復興に水を差す、とか、空気を吸うなってことになるぞ、とか非難されてしまいます。本質から目をそらし、とりあえずみんな頑張っています。私だけ気持ちが乗り切れずにウツウツ。

◆昨年4月帰還解除された「葛尾村」へ行って来ました。

もともと山間の村なので役場の周りが少し賑やかなだけで、ポツンポツンと民家が点在する静かな村でした。交通量も少なく、震災前で「交通死亡事故ゼロ13,000日達成の村」でした。浪江から三春に抜けるのに、葛尾村を通ってみました。つい最近まで、一部解除されていないところがありました。が通り抜けできるようになったからです。道路は震災前と変わらず細く曲がりくねった急な坂の多い山道でしたが、きれいに整備されていました。引きたての白線が眩しかったです。

夏草に覆われ埋もれている家ばかりが目立ちました。玄関前の草を抜いている割烹着の女性を一人だけ見かけました。他に人を見かけることはありませんでした。山々の緑は深く美しいままでした。胸が痛みました。シクシク。

[2面へ続く]

[1面からの続き]

◆「ワンズ ホーム (One's home)」会津若松市

大熊町から会津若松市に避難し、野口英世青春通りにピッツアのお店を開いた方々に会いました。本格的なピッツアで、生地を宙にとぼして丸くし具材を載せて焼きます。美味しいから人気があり、いつも混みあっています。いつも忙しいから、電話で用を済ませるには忍びなく、ピッツアも食べたいので、友達を誘って行って来ます。

「ワンズ ホーム」には「ふるさと」の意味もあり、「大熊の人も若松の人も自分時間を過ごす場所」にしたいと、お店に込める思いがあります。行って食べて、美味しく爽やかなとても感じの良いお店です。「Los Angeles in 金澤」のように、人と人を繋ぐカフェになって欲しいです。人に会いに、ピッツアを食べに行きます。その度に、金沢を思い出しそうです。ウキウキ。

2018/07/023 福島民報投書 今回は小学生の投書です。

モニタリングの 装置撤去やめて

川俣町・斎藤こゆる

(小学生 12)

先日、福島民報の「みんなのひろば」に、相馬市の男性からの「放射線監視装置 廃炉まで継続を」という投書がのって

いました。それを読みましたが、私はこの意見に賛成です。

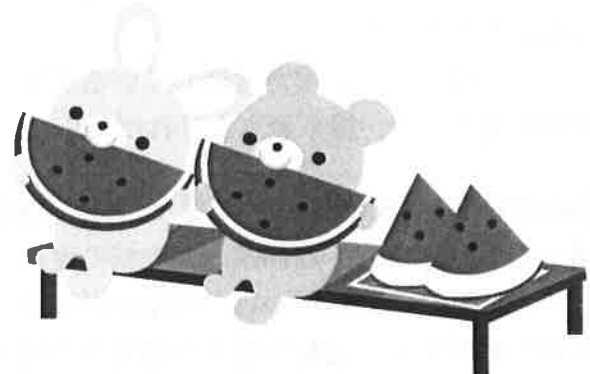
それは、モニタリングポストを撤去してしまうと、目に見えない放射線物質を目で確認できる装置がなくなってしまい、周りのみなさんに不安が生じるのではないかと思っていたからです。

私はこの前、ニュースで撤去に反対している人が、「目に見えない、書のある物が目に見える」ということは、もう今は私たちの生きるすべになっている」と言っているの

を聞きました。

私のふるさとの川俣町山木屋地区も最近、避難が解除されました。しかし、「除せんはしたけれど、やっぱり不安だ」と

言う人が、中にはいると思います。このように、不安を持つ人々のためにも、モニタリングポストの撤去はやめるべきだと思います。



「11の会から」

- ◆ 11の会では甲状腺検診の費用を負担しています。
定期検診など、浅田までご連絡下さい。(T&F 076-205-8250)
なお、受診者名は検査機関と担当者のみで厳重に管理しています。
- ◆ 映画「福島 生きものの記録」上映会&ゲストトーク
9月8日(土)18:30上映開始 20:15トーク 常讃寺(野々市市役所向い)
ゲストトーク: 中村順さん(ふくいち周辺放射線モニタリングプロジェクト)
入場料 大人2,000円 障がい者1,000円 小学生以下 無料
問合せ: Email:banbiust.gmail.com
- ◆ 福島原発刑事訴訟・全国報告会金沢会場
10月20日(土)14:00~ 近江町いちば館
報告者: 武藤類子さん
(福島原発刑事訴訟支援団副団長、福島原発告訴団団長)
問合せ: 福島原発告訴団・北陸 080-5565-7236(浅田)

